



2022年2月14日

各位

会社名 ベルトラ株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 二木 渉
(コード番号:7048 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 Headquarters
Division Director 皆嶋 純平
(TEL:03-6262-5481)

**2021年12月期における個別及び連結業績と前期実績値との差異
並びに関係会社株式評価損(個別)の計上に関するお知らせ**

当社は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響から、未定としておりました2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の通期連結業績並びに通期個別業績について、当期実績値と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

また、2021年12月期において、下記のとおり個別決算において関係会社株式評価損を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期連結業績と前期実績値との差異(2021年1月1日～2021年12月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A)	百万円 890	百万円 △1,333	百万円 △1,250	百万円 △1,547	円 △53.58
当期実績値(B)	492	△1,098	△1,104	△1,157	△35.12
増減額(B-A)	△397	235	146	389	—
増減率(%)	△44.7%	—	—	—	—

2. 2021年12月期通期個別業績と前期実績値との差異(2021年1月1日～2021年12月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前期実績値(A)	954	△1,137	△1,059	△1,455	△50.39
当期実績値(B)	300	△1,063	△1,095	△1,145	△34.75
増減額(B-A)	△653	74	△36	309	—
増減率(%)	△68.5%	—	—	—	—

3. 差異の理由(連結及び個別)

新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の全世界における感染拡大の影響により、世界各国で入出国禁止等の渡航制限や外出制限などの措置が行われており、本日時点(2022年2月14日)も依然としてCOVID-19の収束時期については不透明な状況が続いており、海外旅行需要が回復期に入るまでは相応の時間がかかると見込まれ、厳しい環境下におかれております。

当連結会計年度における営業収益は、日本人旅行者に対する国内ツアー予約かかる収益並びに催行地をハワイに特化した英語サイト「HawaiiActivities」でのツアー予約にかかる収益に回復が見られたものの、2020年においては、COVID-19の影響を受ける以前の1月及び2月において、前年同期比を上回る営業収益の計上がなされていたことから当期の営業収益は前年を下回る結果となりました。なお、利益につきましては、前年からの全社的なコストの見直しを継続し、広告宣伝費を中心に大幅な削減を行い、その他、役員報酬の減額、賞与支給の停止、従業員の休業対応による削減など徹底的な経費削減をおこないました結果、営業利益並びに当期純利益においては、前期実績値を上回る結果となりました。

4. 個別決算における関係会社株式評価損の計上

当社が保有する関係会社株式のうち、実質価額が著しく下落した海外連結子会社に対する関係会社株式について減損処理を実施し、2021年12月期の個別決算において、34,900千円の関係会社株式評価損を特別損失に計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算上消去されるため、連結業績への影響はありません。

以上